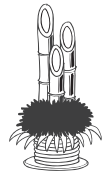


トピックス topics

第24号
H23. 1

京 農 業 会 議

都 だ よ り



発行 京都府農業会議
〒602-8054 京都市上京区出水通油小路東入丁子風呂町104-2 京都府庁西別館内
Tel:075(441)3660 e-mail:k_noukai@agr-k.or.jp

- p 1 ◆ブロック別「農業委員研修・交流会」始まる
—テーマは“農地と担い手を活かす委員会活動”
- p 2 ◆京の農林秋祭り(上賀茂神社)で農地相談
—京都市農委会と相談コーナーを共同運営
◆支援員を紹介します②
- p 3 ◆TPPへの参加、断固反対を要請
—府議会も意見書を提出
◆田舎ぐらし現地見学ツアーを開催
- p 4 ◆会議員の異動、常任会議だより ほか

平成22年度

ブロック別「農業委員研修・交流会」始まる

——テーマは、農地と担い手を活かす委員会活動——

農業会議が府内5ブロックで開催する「農業委員研修・交流会」が、12月16日、山城北ブロックでスタート。同21日には、京都乙訓ブロックでも開催し、いずれも全体会と分散会で「地域の課題に即した委員会活動」について学びました。

地を守り隊を結成し、地域に見える形で遊休農地対策に取り組み成果をあげている」ことなどを学びました。

よって遊休農地を解消した経験を発表しあうなど、活発な情報交換が行われました。

◆ ◆ ◆
今年、農地と担い手を守り活かす視点で委員会活動を強化するを統一テーマに、法定化された農地利用状況調査と農地保全・有効利用に向けた取り組みを研修・交流しています。

山城北ブロックの全体会では、加古川市農業委員会の石原一公会長が「農業委員会活動の活性化と農業委員の意識改革」について講演。「毎月、農業委員がクイズ形式で農地法・基盤法等について研鑽を積み重ね、法令事務を適正に行っている」ことや「地区別に農

◆ ◆ ◆
京都乙訓ブロックの全体会では、長岡京市から「タケノコ畑の保全と再生利用活動」について、京都市から「農業体験農園(久我みやにしふれあい農園)の取り組み」について、それぞれ報告を受けて、現地視察を行いました。

◆ ◆ ◆
また、それぞれの分散会では、改正農地法で農業委員会に義務づけられた利用状況調査の実施方法や、その後の活動に



NPO 法人による再生利用活動で蘇った竹林を見学する農業委員

「京の農林秋まつり」(上賀茂神社)で 農地のよるず相談

— 京都市農委会と相談コーナーを共同運営

京都府農地相談センターは、11月6日、京都市の上賀茂神社で「農地のよるず相談」を行いました。これは、京都市農業委員会が「京の農林秋まつり」に出展し、特設テントで委員会活動をPRする一環として、「市民からの農地相談」を実施することになったため、農業会議(府農地相談センター)と農業委員会が協力して取り組んだものです。

当日は、多くの市民がテントを訪れ、女性農業委員が焼いた京野菜チジミを食べたり、農業委員会の活動紹介パネルを見たりしていました。

農業会議の相談員は、市民農園・体験農園・田舎ぐらしなどの相談14件に対応し、その他に情報提供を行いました。



市民農園や田舎ぐらしの相談に、たくさんの市民が訪れました

支援員を紹介します ②



ますだ 増田 英雄さん
ひでお 増田 英雄さん

農地相談センター支援員として、早6か月が経ちました。

丹後・与謝地域、宮津市・与謝野町・伊根町・京丹後市を担当しています。

農地法改正や事務の適正化通知等により、農業委員会は、今まで以上に農地・農業について多種多様、事務の迅速適正化等の業務対応が強く求められています。事務局の体制は、専任職員・兼務職員と市町村により異なりますが、どちらの体制においても、非常に厳しい勤務体制には変わりないのが実状です。

なかでも農地利用状況調査が法文化され義務づけられました。この地方では、高齢化、後継者の町外転出による耕作者の激減に加えて、想像を超える獣の増加による有害鳥獣被害が年々増加し、農地保全対策の大きな課題となっています。このことは、農業の復興・継続だけではなく、むら・地域の存続に影響を与えかねない深刻な状況です。

本地域では、農地や農業は、基幹産業としての役割の大きさはもちろんですが、むら・地域の存続にとっても欠かせないものです。そのなかで、支援員として、農業委員さんと事務局が、従来の農地法における対応のみならず、地域において新たな役割を担えるよう、お手伝いや委員会相互の連携役としてお役に立てればと思います。

農業会議、府内26農業委員会の連名で

TPPへの参加、断固反対を要請!

— 府議会も「意見書」を政府・国会に提出 —

京都府農業会議(草木慶治会長)と府内の26農業委員会(会長)は、政府がTPP(環太平洋経済連携協定)について「関係国との協議を開始する」と決定した(11月9日)ことを受け、11月29日、「TPPへの参加は断固反対であり、絶対に行わないこと」を求めて、政府・国会と京都府、京都府議会に要請を行いました。

◆ ◆ ◆
この要請を受けて、京都府議会は、12月16日、「我が国の農業振興に関する意見書」を採択し、政府・国会(首相、関係大臣、衆参両院議長)に提出しました(下に掲載のとおり)。意見書では、「政府の

我が国の農業振興に関する意見書

農林水産業は、食料を安定的に供給する重要な機能に加え、水源のかん養、国土保全、農業の営みを通じて形成される美しい景観維持など、多面的な機能を有し、都市住民をはじめ、全ての国民がその恩恵を享受している。

しかしながら、担い手の減少や高齢化の進行、耕作放棄地の増加、農産物価格の低迷などにより、日本の農業や農村集落機能が崩壊する恐れも生じる非常に厳しい状況にある。

また、世界の穀物等の需給は、中長期的にひっ迫基調が見込まれ、我が国の食料安全保障上、食料自給率の向上は、急務の課題となっている。

一方、政府においては、去る11月9日、「包括的経済連携に関する基本方針」を閣議決定し、環太平洋パートナーシップ協定(TPP)について、関係国との協議を開始するとの方針が出されたところである。

農業関係者からは、今回の決定は、これまでの政府方針を大きく踏み出すもので、農業と農村が大きな打撃を受け、我が国農業の将来への不安の声が上がっている。

資源が少ない我が国において、関係国との経済連携を検討することは重要であるが、その際、まずは、農業政策において、多様で豊かな地域の農業が、将来にわたって持続・発展できるような万全の措置を事前に講じることが、何よりも重要である。

よって、国におかれては、希望を持ち安心して農業に従事でき、食の安全・安定的な供給、食料自給率の向上、農林水産業・農山漁村の振興に対する実効ある具体策を、早急に講じられることを強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成22年12月16日

衆議院議長	横路孝弘殿
参議院議長	西岡武夫殿
内閣総理大臣	菅直人殿
外務大臣	前原誠彦殿
農林水産大臣	鹿野道彦殿
経済産業大臣	大島章宏殿
国家戦略担当大臣	玄葉光一郎殿

京都府議会議長 林田 洋

TPPへの関係国との協議を開始する決定は、農業・農村が大きな打撃を受ける」として、「希望を持ち安心して農業に従事でき、食料自給率

の向上、農林水産業・農山漁村の振興に対する実効ある具体策を、早急に講じられることを強く要望する」としています。

田舎ぐらし現地

見学ツアー”開催

「京の田舎ぐらしふるさとセンター」は12月18日(土)、田舎ぐらし希望者と宮津市、伊根町を訪ねる、田舎ぐらし現地見学ツアーを開催しました。

当日は、堺市などから15名が参加しました。

天橋立を一望する一等地や伊根の舟屋などの空き家物件の見学をしたり、京の田舎ぐらしナビゲーター(奥野良一さん、勅使河原道子さん)、先輩移住者、地元NPO法人里山ネットワーク世屋の方との懇談会を行いました。

伊根町立筒川文化センターでの懇談会では、昼食のぼたん鍋や手打ち蕎麦に舌鼓を打ち、宮津市の里山ネットワーク世屋事務局(愛称「ぶーたん」)での懇談会では、世屋高原の棚田や宮津湾を望む絶景の景色を眺めながら、それぞれ、先輩移住者やナビゲーター、NPOの話に聞き入り、活発な質問が出て、交流を深めました。

会議員の異動

〈1号会議員〉

- 木津川市
- 新 辻 清康 (10月1日)
- 旧 河村 穆 (9月30日)
- 精華町
- 新 尾崎 平宏 (11月5日)
- 旧 石津 愿造 (10月31日)

常任会議だより

農地法等諮問案件の審議のほか、次の課題を協議しました。

第346回常任会議 (8月25日)

協議

- ①平成23年度京都府農林施策への提案 (素案) について

第347回常任会議 (9月29日)

報告

- ①平成22年度京都府農林関係9月補正予算案について

協議

- ①平成23年度京都府農林施策への提案 (案) について

第348回常任会議 (10月27日)

報告

- ①「水田の保全と担い手に関する農業委員アンケート」の結果について

第349回常任会議 (11月24日)

報告

- ①T P P等をめぐる動きについて

- ①T P P交渉参加に関する要請決議について

第350回常任会議 (12月22日)

審議

- ①京都府農業振興地域整備基本方針の一部変更に係る意見照会について

報告

- ①府内農業委員会の組織実態と農業委員会制度をめぐって

【農地法諮問案件の審議件数】

(8~11月)

第4条21件 17,236.16㎡

第5条74件 64,524.82㎡

計 95件 81,760.98㎡

【会議員現地調査件数】

8月12日 (亀岡市)、10月12日 (与謝野町)、10月13日 (亀岡市)、11月11日 (久御山町、京田辺市)、11月16日 (京都市)、11月17日 (与謝野町)

会議・研修会等の開催

【農業委員会関係】

平成23年度京都府農林施策に係る府

知事要請 (10月26日)

女性農業委員ブロック別研修会 (中丹丹後 11月17日、南丹 18日、山城南 25日、京都乙訓山城北 26日)

京都府農業委員会広報コンクール審査委員会 (12月13日)

ブロック別農業委員研修・交流会 (山城北 12月16日、京都乙訓 21日)

【担い手協議会関係】

「農の雇用事業」研修生研修交流会 (南部 8月25日、北部 26日)

「農の雇用事業」研修生事業説明会 (南部 12月21日、北部 22日)

集落営農会計セミナー (11月25日)

集落型農業法人の設立講座 (12月10日~1月28日)

【田舎ぐらし関係】

京の田舎ぐらし講座・交流会 (10月30日)

田舎ぐらし現地見学ツアー (12月18日)

出版案内

【農業会議の出版物】

『あぐりるねっさんず』

▼No.82 (2010年秋号)

【おすすめ図書】

『農地転用許可制度のあらまし (改訂版)』

●制度の内容や手続きをわかりやすく紹介しています。

コード22-36 90円



※お問い合わせは農業委員会事務局又は農業会議まで

今後のスケジュール

▼第351回常任会議 (1/26)

▼農業委員会担当者会議 (1/28)

▼丹後ブロック農業委員研修・交流会 (2/2)

